

第68期 決算のご報告

2023年4月1日から 2024年3月31日まで



エスケー化研株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。
ここに第68期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

当期は新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進んだことから、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、国際情勢に起因する資源価格の高騰や物価の上昇に加え、世界的な金融引き締めなどが続く中で、中国経済の減速など海外景気の下振れが国内景気に影響を及ぼすことが懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

建築塗料業界においては、都市部や首都圏を中心とした大規模再開発案件が活発であり、さらに物流施設やデータセンターなどの需要も順調に推移しました。一方、戸建住宅などの需要はインフレの影響を受け、消費者マインドにブレーキがかかりました。また、慢性的な人材不足による現場技術者および現場作業員の確保と育成が大きな課題であり、建築費・人件費の高騰、人材の高齢化など厳しい市場環境にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、「無から有」の企業理念に基づき「環境性向上」「資産価値の向上」「省力化」「快適」「健康」「安全」「安心」をキーワードに建築用仕上塗材・新型化学建材の分野において、新製品・新技術及び新需要の開発に取り組んでまいりました。また、営業面においては超耐久・超低汚染塗料、環境問題に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、高意匠性塗材や耐火被覆材・断熱材などの拡販に努め、売上高は1008億83百万円(前年同期比5.5%増)となり利益面では原材料の高騰により製品価格の値上げと高付加価値製品の販売拡大により営業利益は120億85百万円(同21.6%増)、経常利益は為替変動の影響により170億58百万円(同33.2%増)となりました。

次年度は、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い経済活動はさらに正常化に向かうものの、ウクライナ情勢や中東情勢、中国経済の先行き懸念などの世界経済の状況、物価高や為替変動などの国内経済の状況、頻発する天候不順など、先行きの見通しが不透明な状況にあります。こうした経済情勢の中、当社グループにおきましては、市場のニーズに対応した技術開発・製品開発を推進し、新築・改修案件に対しの確な提案を行い、市場での信用拡大・業績向上に向けて当社グループ一丸となって努めてまいります。

次期の業績の見通しにつきましては、原材料価格の高止まり、物流費や人件費の上昇、為替の変動もあり売上高は1030億円(当期比2.1%増)、営業利益122億円(当期比0.9%増)、経常利益137億円(当期比19.7%減)、親会社株主に帰属する当期利益95億円(当期比19.7%減)を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

代表取締役社長

藤井 実広



省力化

快適

健康

安全

安心

環境性向上

資産価値の向上

建築用総合塗材国内シェアNo.1

※2023年NSK日本建築仕上材工業会調べ



企業集団の事業の経過及び成果

当連結会計年度における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症による制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進んだことから、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、国際情勢に起因する資源価格の高騰や物価の上昇に加え、世界的な金融引き締め等が続く中で、中国経済の減速など海外景気の下振れが国内景気に影響を及ぼすことが懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

建築塗料業界におきましては、都市部や首都圏を中心とした大規模再開発案件や物流施設・データセンターなどの需要が堅調に推移致しました。一方、戸建住宅等の需要はインフレの影響を受け、消費者マインドにブレーキがかりました。また、慢性的に人材不足による現場技術者及び現場作業員の確保と育成が大きな課題であり、建築費・人件費の高騰、人材の高齢化等厳しい市場環境にあります。

このような状況下、当社グループは、販売価格の見直しを行い、経費削減に努めるとともに、引き続き新築市場だけではなく膨大なストックを有するリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、地球温暖化現象に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆材・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高は、1,008億83百万円（前年同期比5.5%増）となりました。利益面におきましては、原材料の高騰を受けて製品価格の値上げを行い、営業利益は、120億85百万円（同21.6%増）となり、経常利益は、為替変動の影響等により170億58百万円（同33.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は、118億25百万円（同30.9%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建築仕上塗材事業

建築仕上塗材事業におきましては、特にリニューアル市場において超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化した省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行ない、売上高は896億41百万円（前年同期比4.7%増）と前連結会計年度に比べて40億58百万円の増収となりました。セグメ

ント利益は131億48百万円（同18.1%増）と前連結会計年度に比べて20億16百万円の増益となりました。

②耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、都市部の再開発事業における受注は続いており、売上高は94億61百万円（同22.7%増）と前連結会計年度に比べて17億50百万円の増収となりました。セグメント利益は13億93百万円（同56.2%増）と前連結会計年度に比べて5億1百万円の増益となりました。

③その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は17億80百万円（同22.2%減）と前連結会計年度に比べて5億6百万円の減収となりました。セグメント利益は1億27百万円（同18.2%増）と前連結会計年度に比べて19百万円の増益となりました。

企業集団が対応すべき課題

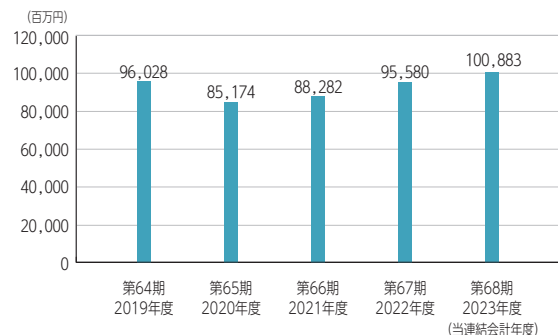
今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い経済活動はさらに正常化に向かうものの、ウクライナ情勢や中東情勢、中国経済の先行き懸念等の世界経済の状況、物価高や為替変動等の国内経済の状況、頻発する天候不順等、先行きの見通しが不透明な状況にあります。

こうした経済情勢の中、建築塗料業界におきましては、都市部や首都圏を中心とした再開発の需要が見込まれますが、一方、労務者不足・人件費の高騰、物流コストや原材料価格の高騰等経営環境へのリスクも多く、依然として厳しい環境が続いております。

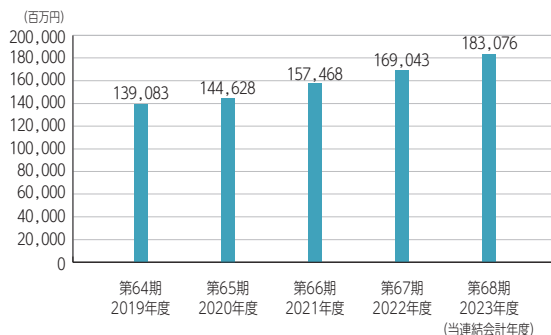
このような状況下、プレミアムシリーズ等の高級製品による需要の底上げ、耐火断熱や高耐候性・高意匠性の製品等を提案して既存取引先の深耕と新規開拓を推進して、常に、「無から有」をモットーに、「環境性向上」「資産価値の向上」「省力化」「快適」「健康安全」「安心」をキーワードとして、需要開発に努めると共に、経営理念や社是・社訓に基づいた事業活動を進めております。そして、コーポレートガバナンス体制を重視した社内組織体制の一層の充実を図り、より一段と国内外の新市場の開発に尽力し、持続可能な新技術革新、新製品の開発を通じて会社業績向上に努めてまいります。

企業集団の財産及び損益の状況の推移

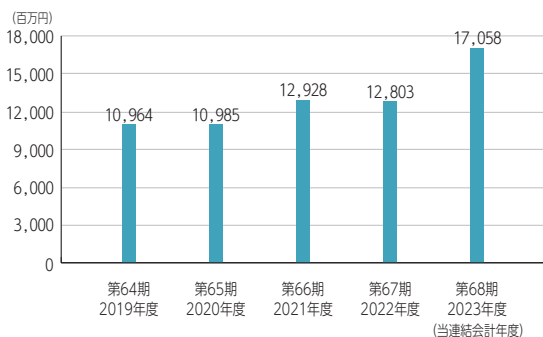
売上高



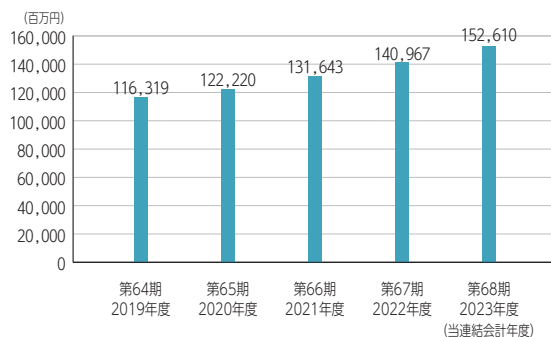
総資産



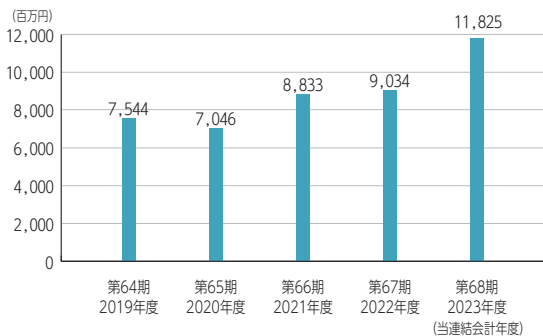
経常利益



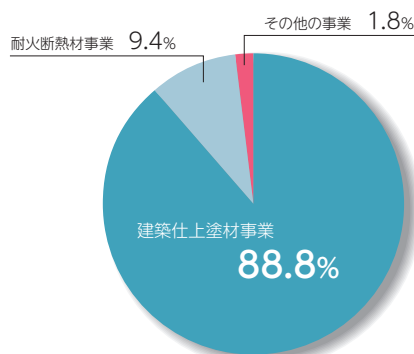
純資産



当期純利益



事業区分別売上高構成比



※「収益認識に関する会計基準」等を第66期の期首から適用しており、第66期以降に係る売上高については、当該会計基準等を適用した後の売上高となっております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	128,894	137,507
現金及び預金	99,495	105,885
受取手形及び売掛金	17,903	18,950
電子記録債権	2,865	3,171
商品及び製品	1,995	2,153
仕掛品	1,365	1,381
未成工事支出金	185	251
原材料及び貯蔵品	4,188	4,355
その他	909	1,374
貸倒引当金	△ 13	△ 18
固定資産	40,148	45,569
有形固定資産	12,919	12,875
建物及び構築物	3,505	3,366
機械装置及び運搬具	175	238
土地	8,253	8,278
建設仮勘定	139	177
その他	845	814
無形固定資産	779	803
投資その他の資産	26,449	31,890
投資有価証券	7,616	7,624
繰延税金資産	64	247
長期預金	15,068	20,011
退職給付に係る資産	1,479	1,594
その他	2,356	2,554
貸倒引当金	△ 135	△ 143
資産合計	169,043	183,076

科 目	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
(負債の部)		
流動負債	24,102	26,359
支払手形及び買掛金	9,557	8,787
短期借入金	3,000	3,000
未払金	5,937	6,612
未払法人税等	2,040	3,353
賞与引当金	1,526	1,925
役員賞与引当金	92	103
製品保証引当金	109	85
その他	1,838	2,491
固定負債	3,973	4,106
繰延税金負債	37	55
役員退職慰労引当金	1,253	1,284
退職給付に係る負債	146	147
その他	2,535	2,619
負債合計	28,075	30,466
(純資産の部)		
株主資本	137,977	148,724
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	141,696	152,444
自己株式	△ 9,518	△ 9,518
その他の包括利益累計額	2,989	3,885
その他有価証券評価差額金	3	10
為替換算調整勘定	2,881	3,739
退職給付に係る調整累計額	104	135
純資産合計	140,967	152,610
負債純資産合計	169,043	183,076

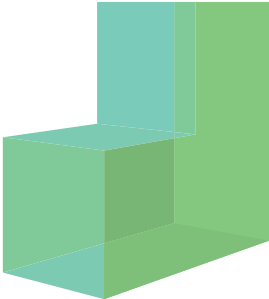
※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 連 結 会 計 年 度		当 連 結 会 計 年 度	
	2022年 4月1日から	2023年 3月31日まで	2023年 4月1日から	2024年 3月31日まで
売 上 高		95,580		100,883
売 上 原 価		68,411		70,047
売 上 総 利 益		27,169		30,835
販売費及び一般管理費		17,227		18,750
営 業 利 益		9,941		12,085
営 業 外 収 益				
受 取 利 息	625		1,669	
受 取 配 当 金	0		0	
為 替 差 益	2,038		3,487	
そ の 他	237	2,902	178	5,336
営 業 外 費 用				
支 払 利 息	30		31	
為替換算調整勘定取崩益	－		322	
そ の 他	9	39	9	363
経 常 利 益		12,803		17,058
税金等調整前当期純利益		12,803		17,058
法人税、住民税及び事業税	3,852		5,413	
法 人 税 等 調 整 額	△ 84	3,768	△ 181	5,232
当 期 純 利 益		9,034		11,825
非支配株主に帰属する当期純利益		－		－
親会社株主に帰属する当期純利益		9,034		11,825

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当連結会計年度期首残高	2,662	3,137	141,696	△ 9,518	137,977	3	2,881	104	2,989	140,967
当 連 結 会 計 年 度 変 動 額										
剰余金の配当			△ 1,078		△ 1,078					△ 1,078
親会社株主に帰属する当期純利益			11,825		11,825					11,825
自己株式の取得				△0	△0					△0
株主資本以外の項目の 当連結会計年度変動額（純額）						6	858	30	895	895
当連結会計年度変動額合計	－	－	10,747	△0	10,746	6	858	30	895	11,642
当 連 結 会 計 年 度 末 残 高	2,662	3,137	152,444	△ 9,518	148,724	10	3,739	135	3,885	152,610

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前事業年度 (2023年 3月31日現在)	当事業年度 (2024年 3月31日現在)
(資産の部)		
流 動 資 産	110,240	117,007
現金及び預金	85,675	90,981
受取手形	3,376	3,235
電子記録債権	2,865	3,171
売掛金	12,299	12,978
商品及び製品	1,504	1,599
仕掛品	1,348	1,366
未成工事支出金	181	248
原材料及び貯蔵品	2,423	2,558
その他	827	1,154
貸倒引当金	△ 262	△ 287
固 定 資 産	45,088	50,895
有形固定資産	10,905	11,258
建物	2,660	2,779
構築物	170	185
機械及び装置	89	209
車両運搬具	12	9
工具器具及び備品	29	93
土地	7,803	7,803
建設仮勘定	139	177
無形固定資産	59	45
ソフトウェア	44	30
その他	15	15
投資その他の資産	34,123	39,592
投資有価証券	7,615	7,624
関係会社株式	4,665	4,652
長期預金	15,000	20,000
長期貸付金	2,317	2,351
繰延税金資産	1,853	2,051
差入保証金	822	792
その他	2,624	2,909
貸倒引当金	△ 318	△ 337
投資損失引当金	△ 455	△ 451
資 産 合 計	155,329	167,902

科 目	前事業年度 (2023年 3月31日現在)	当事業年度 (2024年 3月31日現在)
(負債の部)		
流 動 負 債	21,638	23,061
支払手形	1,773	1,803
買掛金	7,160	6,635
短期借入金	3,000	3,000
未払金	4,700	4,759
未払費用	790	899
未払法人税等	2,006	3,218
未払消費税等	375	489
賞与引当金	1,472	1,861
役員賞与引当金	92	103
製品保証引当金	100	76
その他	166	213
固 定 負 債	3,232	3,445
退職給付引当金	135	147
役員退職慰労引当金	1,253	1,284
その他	1,843	2,013
負 債 合 計	24,871	26,506
(純資産の部)		
株 主 資 本	130,454	141,386
資 本 金	2,662	2,662
資 本 剰 余 金	3,137	3,137
資本準備金	210	210
その他資本剰余金	2,926	2,926
利 益 剰 余 金	134,173	145,105
利益準備金	455	455
その他利益剰余金	133,718	144,650
固定資産圧縮積立金	12	11
別途積立金	122,550	131,050
繰越利益剰余金	11,155	13,589
自 己 株 式	△ 9,518	△ 9,518
評価・換算差額等	3	10
その他有価証券評価差額金	3	10
純 資 産 合 計	130,457	141,396
負 債 純 資 産 合 計	155,329	167,902

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前 事 業 年 度		当 事 業 年 度	
	2022年 4月1日から	2023年 3月31日まで	2023年 4月1日から	2024年 3月31日まで
売 上 高		82,622		86,378
売 上 原 価		58,807		60,484
売 上 総 利 益		23,814		25,894
販売費及び一般管理費		14,068		14,984
営 業 利 益		9,745		10,909
営 業 外 収 益				
受取利息及び配当金	1,852		2,504	
為 替 差 益	2,031		3,477	
投資損失引当金戻入額	－		3	
そ の 他	195	4,079	137	6,123
営 業 外 費 用				
支 払 利 息	8		8	
投資損失引当金繰入額	1		－	
関係会社株式評価損	－		12	
そ の 他	12	22	4	25
経 常 利 益		13,802		17,007
税 引 前 当 期 純 利 益		13,802		17,007
法人税、住民税及び事業税	3,768		5,198	
法 人 税 等 調 整 額	38	3,806	△201	4,997
当 期 純 利 益		9,996		12,010

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

当事業年度（2023年4月1日から2024年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本										評価・換算差額等		純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益 準備金	利益剰余金			自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証券 評価 差額金	評価・ 換算差額 等合計		
		資本 準備金	その他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計		固定資産 圧縮積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金						利益 剰余金 合計
当 期 首 残 高	2,662	210	2,926	3,137	455	12	122,550	11,155	134,173	△ 9,518	130,454	3	3	130,457
当 期 変 動 額														
固定資産圧縮積立金の取崩						△ 1		1	－		－			－
別途積立金の積立							8,500	△ 8,500	－		－			－
剰余金の配当								△ 1,078	△ 1,078		△ 1,078			△ 1,078
当期純利益								12,010	12,010		12,010			12,010
自己株式の取得										△0	△0			△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）												6	6	6
当 期 変 動 額 合 計	－	－	－	－	－	△ 1	8,500	2,433	10,932	△0	10,931	6	6	10,938
当 期 末 残 高	2,662	210	2,926	3,137	455	11	131,050	13,589	145,105	△9518	141,386	10	10	141,396

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

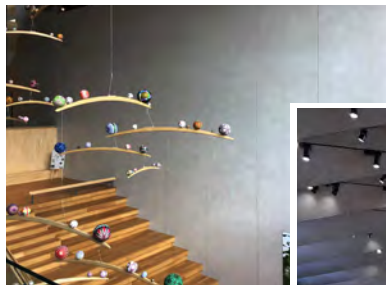
国内実績



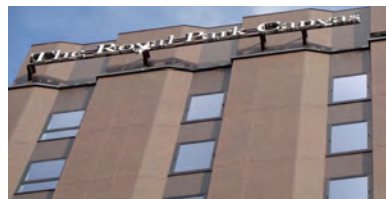
ワールドシティタワーズ
水性弾性セラタイトF、水性弾性サーフェス
ノキフレッシュセラ



鹿沼市役所 新庁舎
SKタイカコートHS、
SKタイカコート、
セラタイカ2号



松本市立博物館
ファインFR工法INメタリック仕上げ、
グラニクイーン



ザ ロイヤルパーク キャンパス 銀座コリドー
ファインFR工法EX



改修前<磁器タイル>



施工後



ワコー市ヶ谷マンション修繕工事
グラニビエーレ御影石調、
エスケーププレミアム無機



MCUD南吹田
セラタイカ2号、セラミライトエコG

に採用され、それぞれの国の建築文化の向上に大きく貢献しています。

■ 海外実績



永威金橋西棠 中国
SKKグラノアートプラス、
SKKグラノアートプレミオ、
SKK聖雅弾性1000



東湖九号 中国
SKKロマンストーン、SKKロマンファンシー、
SKKグラニバラス、SKKグラノアートプラス



泰州美好大觀園 中国
SKK EL コート、SKKレナフレンド



深中大橋 中国
SKKセラミクリーTF



チュンリンマンション 香港
レナエクセレントローラー、弾性コンボウレタン



パンパシフィックオーチャード
シンガポール
セラミクリーTF2、インターマット



サマリンダイスラムセンターモスク インドネシア
エレガンストーン、グラニバステル



プトラジャヤ開発公社 マレーシア
エレガンストーン、セラミクリーTSi



チャンギ空港ターミナル2 シンガポール
セラミフレッシュIN、アーキフロアEHG、
コンボシリコンW55

新製品開発・情報紹介

5月 新製品 シリーズ充実

「エスケープレミアム無機ルーフ」を上市しました。これにより「エスケープレミアム無機」「エスケープレミアム無機マイルド」とエスケープレミアム無機シリーズとして屋根、外壁をトータルで格別な塗り替えご提案ができるようになりました。



「エスケープレミアム無機ルーフ」



「エスケープレミアム無機シリーズ」ポスター

7月 新開発（新工法）

「ファイン FR-MAT工法木目調仕上げ」を新開発しました。軒天専用の木目調ファンデーション塗装工法により、軒天などにデザイン性を付与できる製品です。



「ファインFR-MAT 工法木目調仕上げ」

9～10月

各種シリーズ
パンフレットの充実

「耐火被覆材・不燃断熱材・不燃材」「ファインFR工法シリーズ」など好評な製品をシリーズでご紹介し、お客様のニーズにえています。



ホームページ・情報紹介

新トップページ・特集サイトリニューアル

ホームページでは新着情報をはじめ、製品情報、実績物件紹介、IR情報明示などより快適にご活用いただけるよう改良・改善を実施いたしました。

- トップページに動画を採用しました。
- 特集サイト「マンション大規模修繕サポート」新リニューアルしました。
- 住宅塗り替えシミュレーションサイトに建物タイプを新たに追加しました。
- 耐火塗料「SKタイカコートHS」鉄骨柱2時間耐火認定を取得しました。
- 耐火塗料「SKタイカコートHS」柱の防火被覆(30分耐火)認定を取得しました。



未来へつながる新型製品を提供し続けます。

展示会・催事情報紹介

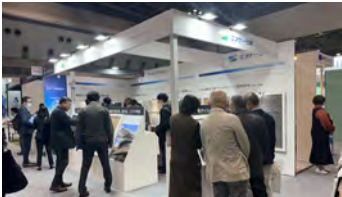
6 月 FOOMA JAPAN 2023 へ出展

国際食品工業会「FOOMAJAPAN2023」食品工場の塗床改修提案や、工場など屋根の遮熱塗料のご紹介をしました。



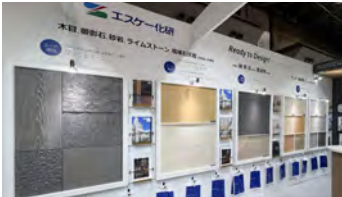
11 月 JAPAN TEX 2023 へ出展

インテリアトレンドショー「JAPANTEX2023」内装市場向けに高意匠 NFD 製品を出展しました。



3 月 JAPAN SHOP 2023 へ出展

店舗総合見本市「JAPANSHOP2023」店舗・内装向けに新工法、新開発の高意匠 NFD 製品を出展しました。



1 月 新春交礼会 東京 / 大阪 / 名古屋で開催

4年ぶりとなる新春交礼会を全国3箇所で開催しました。オリジナル製品の開発や新工法・新提案をご紹介しました。



JR 博多駅看板を LED 照明に改修

九州の玄関口のひとつであるJR博多駅の筑紫口側ビル屋上に設置されております屋外看板をネオン管からLED照明への切り替え改修を実施いたしました。
省エネ対策、環境に配慮した看板として企業イメージの信頼と社会貢献に努めて参ります。



会社概要 (2024年3月31日現在)

設 立 1958年4月17日

資 本 金 26億62百万円
連結純資産 1,526億10百万円

企業集団の
従業員数 2,299名（臨時従業員を除く）

事業内容

- 建築仕上塗材事業
有機無機水系塗材、合成樹脂塗料、無機質系塗材、高級内装装飾材、
高意匠性内外シート建材、無機質建材の製造販売及び特殊仕上工事の請負
- 耐火断熱材事業
断熱材、耐火被覆材、耐火塗料の製造販売及び耐火断熱工事の請負
- その他の事業
各種化成品の製造販売



本社

役員 (2024年6月28日現在)

代表取締役会長	藤 井 實	取締役	竹 内 正 博
代表取締役社長	藤 井 実 広	取締役	長 塚 孝 史
専務取締役	坂 本 雅 英	取締役	西 田 伸 二
常務取締役	片 岡 秀 人	取締役	本 電 坦 道
取締役	藤 井 訓 広	取締役	濱 名 正 二
取締役	福 岡 透	取締役	竹 原 道 幸
取締役	伊 藤 義 之	取締役	尾 崎 賢

主要な関係会社

SKK (S) PTE.LTD. (シンガポール)

SKK (H.K.) CO.,LTD. (香港)

H.K.SHIKOKU CO.,LTD. (香港)

SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD. (上海)

SK KAKEN (M) SDN.BHD. (マレーシア)

SKK CHEMICAL (M) SDN.BHD. (マレーシア)

SK COATINGS SDN.BHD. (マレーシア)

SK KAKEN (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)

SKK CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD. (タイ)

PT SKK KAKEN INDONESIA (インドネシア)

PT SKK KAKEN KONSTRUKSI (インドネシア)

PT SKK KAKEN DISTRIBUTI (インドネシア)



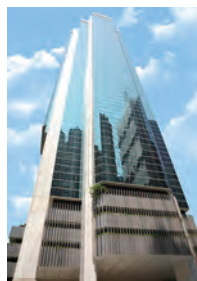
SKKグローバルセンター



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.
／上海営業所



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.
／北京分公司



SKK (H.K.) CO.,LTD.



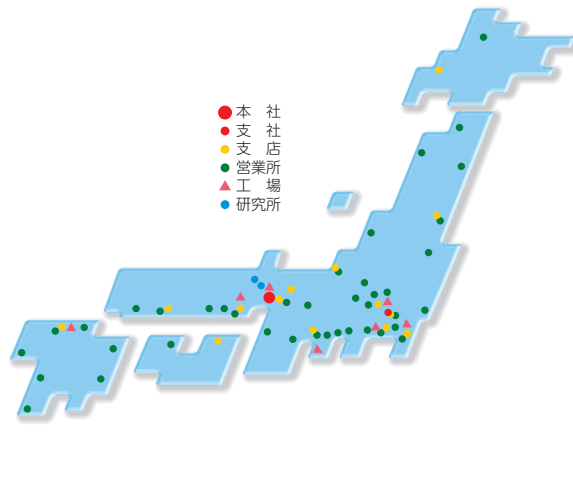
第一技術研究所



第二技術研究所

■ 国内主要事業所 (2024年6月28日現在)

本 社	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25
本 部	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25
国 際 事 業 本 部	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25
東 京 支 社	〒169-0075	東京都新宿区高田馬場1-31-18
札 幌 支 店	〒065-0042	北海道札幌市東区本町二条10-2-39
仙 台 支 店	〒983-0013	宮城県仙台市宮城野区中野1-5-12
東 京 支 店	〒169-0075	東京都新宿区高田馬場1-31-18
千 葉 支 店	〒263-0003	千葉県千葉市稲毛区小深町122-1
埼 玉 支 店	〒337-0051	埼玉県さいたま市見沼区東大宮6-30-48
横 浜 支 店	〒244-0801	神奈川県横浜市戸塚区品濃町549-2
北 陸 支 店	〒920-8203	石川県金沢市鞍月3-34
名 古 屋 支 店	〒451-0044	愛知県名古屋市区西區菊井2-14-19
京 都 支 店	〒612-8415	京都府京都市伏見区竹田中島町263
大 阪 支 店	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-31
神 戸 支 店	〒652-0807	兵庫県神戸市兵庫区浜崎通5-1
広 島 支 店	〒731-5161	広島県広島市佐伯区五日市港2-1-5
高 松 支 店	〒761-8073	香川県高松市太田下町2585-3
福 岡 支 店	〒813-0062	福岡県福岡市東区松島5-6-16
大 利 根 工 場	〒303-0044	茨城県常総市菅生町57-1
埼 玉 工 場	〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1-6
神 奈 川 工 場	〒252-0012	神奈川県座間市広野台2-3-30
名 古 屋 工 場	〒475-0032	愛知県半田市潮干町1-2
大 阪 工 場	〒567-0056	大阪府茨木市南清水町4-5
兵 庫 工 場	〒679-0221	兵庫県加東市河高355-40
九 州 工 場	〒820-0609	福岡県嘉穂郡桂川町吉隈429-26
第一技術研究所	〒567-0059	大阪府茨木市清水1-25-10
第二技術研究所	〒567-0056	大阪府茨木市南清水町4-1
SKKグローバルセンター	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-12-2
他営業所全国55ヶ所		



九州工場



大阪工場



兵庫工場



PT SKK KAKEN INDONESIA



SKK (S) PTE.LTD.



SKK CHEMICAL (M) SDN. BHD.



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.



SKK CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.



大利根工場



神奈川工場



埼玉工場



名古屋工場



株 主 メ モ

事 業 年 度	4月1日～翌年3月 31 日
期 末 配 当 金 受 領 株 主 確 定 日	3月 31 日
定 時 株 主 総 会	毎年6月
株 主 名 簿 管 理 人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所スタンダード市場
公 告 方 法	電子公告により、当社ホームページに掲載します。 なお、やむを得ない理由により電子公告ができない 場合は、日本経済新聞に掲載します。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<https://www.sk-kaken.co.jp/>